

ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2008

SES

2008

参加募集

日程 2008年9月1日(月)～3日(水)

会場 東洋大学 白山キャンパス

Web <http://ses2008.naist.jp/>

基調講演

「Houston: We are in overload」
Gail Murphy (University of British Columbia)

「ソフトウェア工学の40年とこれから」
玉井 哲雄 (東京大学)

企画セッション

ミドルウェア:「サービス指向アーキテクチャの誕生と進化」
青山 幹雄 (南山大学)

要求工学:「温故知新:要求工学」
中谷 多哉子 (筑波大学)

プログラム解析:「ソフトウェア開発を支援するソフトウェア部品検索システム」
横森 励士 (南山大学)

コスト予測:「ソフトウェア開発コスト予測研究の動向と課題」
野中 誠 (東洋大学)

ワークショップ

「Web 時代のソフトウェア開発環境」
オーガナイザ: 丸山 勝久 (立命館大学)、加藤 大志 (NEC)

「ソフトウェア測定と見積もりに関する知識共有」
オーガナイザ: 野中 誠 (東洋大学)

「ソフトウェア開発のパターンとアーキテクチャ」
オーガナイザ: 羽生田 栄一 (豆蔵)、鷲崎 弘宣、久保 淳人 (早稲田大学)

パネルディスカッション

「ソフトウェア工学の挑戦:情報セキュリティの強化に向けて」
パネルオーガナイザ:
沢田 篤史 (南山大学)

パネリスト:
高倉 弘喜 (京都大学)
妻木 俊彦 (日本ユニシス、国立情報学研究所)
門田 暁人 (奈良先端科学技術大学院大学)
西 康晴 (電気通信大学)

論文発表

信頼性とメトリクス、要求分析、プロセスと分析、ツール、
サービス指向、ソフトウェア工学教育

ポスター展示 ほか

主催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

協賛 情報処理学会 組込みシステム研究会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会(JSSST)、
情報システム学会(ISSS)、日本科学技術連盟(JUSE)、ソフトウェアテスト技術者振興協会(ASTER)、
ソフトウェア技術者協会(SEA)、モデリング推進協議会、電子情報技術産業協会(JEITA)、XMLコンソーシアム

後援 情報処理推進機構(IPA)